

# 多様な研究者の交流が研究を推進 手厚い研究支援に感謝

IROASTには多くの国からさまざまな若い研究者が集まっています。  
今回は、そんなみなさんにIROASTの魅力と  
熊本での暮らしについて話していただきました。



## ためらわずにつかんだ IROAST 赴任のチャンス

— IROAST に来ることになった経緯を教えてください。

**Kunjappy** 私はインドでパルサーの観測から重力波を検出する研究するグループにいたのですが、IROASTの国際共同研究員でもある高橋慶太郎教授と共同研究をして共著論文を出しました。その縁でIROASTを知ったんです。高橋教授からIROASTへのお誘いがあり、ためらうことなく決めました。

**Malla** 私も、IROASTで研究できるチャンスをつかんだ時は、躊躇せず決めました。工学分野で博士

号を取得後、自国ネパールの高速道路の橋梁部門で働いていたんですが、そちらはしばらく休むことにして熊本に来たんです。

**Reetu Rani** 私は出身国のインドで博士号を取得しました。科学研究力が高くノーベル賞受賞者も多い日本で研究を続ける道を探していた時、IROASTを知りました。日本文化に触れながら私の専門分野における成長も目指せることは、私の夢そのものでした。

**Agutaya** 私は皆さんと少し違って、熊本大学で博士号を取得しています。その後、IROASTのIROAST International Postdoctoral Fellowship Program\*のもと、IROASTで研究を続けたんです。これ

は、私のような研究者が次世代のリーダーに成長することを支援するプログラム。このおかげで、母校でキャリアアップする道が拓けました。

**Rahman** 世界の著名な大学や研究機関との国際共同研究や学際的な研究プロジェクトの推進において、IROASTは有名な研究機関です。SDGs達成に貢献する研究に取り組める環境もあり、私も若手研究者の一人としてIROASTの業績に貢献したいと思っています。

## 若手が研究に没頭できる 資金も人的サポートも充実

— IROASTはどんな研究機関だと思いますか。

\*IROAST International Postdoctoral Fellowship Program (戦略的国際展開を目指す外国人ポスドク研究者招へい事業)  
IROASTでは、世界中から優秀な研究者が集う国際的な研究拠点の形成を目指しており、その一環で、創造的な研究を行う優秀な若手研究者を海外から招へいし、2年間の研究機会を提供しています。



**Jonas Karl Christopher Nuevas AGUTAYA**

フィリピン出身  
2022年9月～  
計算化学



**Nobleson KUNJAPPY**

インド出身  
2023年11月～  
宇宙物理学



**Prafulla Bahadur MALLA**

ネパール出身  
2022年9月～  
土木建築学



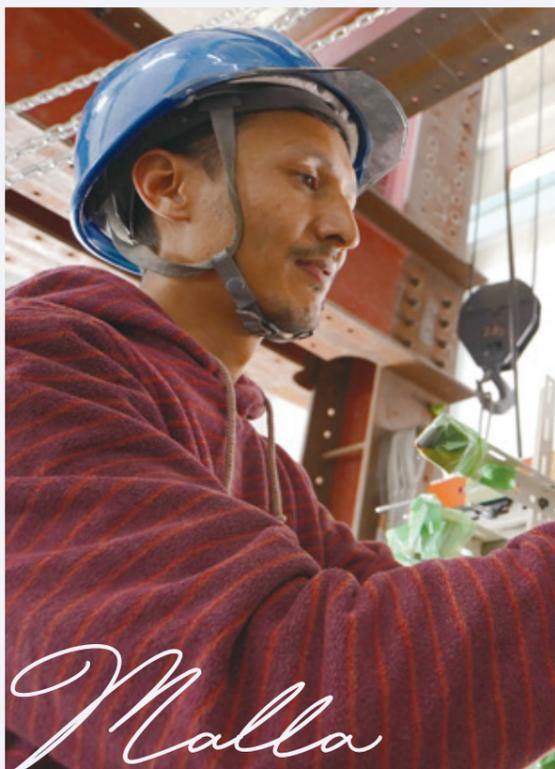
**Mohammad Atiqur RAHMAN**

バングラデシュ出身  
2023年10月～  
無機化学



**Reetu Rani**

インド出身  
2022年9月～  
分析化学



Malla



Rahman



Reetu Rani



Kunjappy



IROAST シンポジウムで研究発表を行った

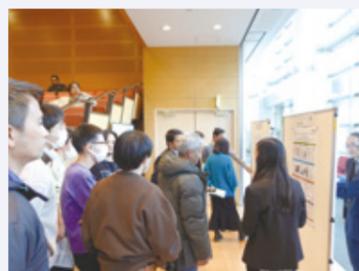
**Rahman** 若手研究者が効率的かつ効果的に研究できる環境と充実したサポートがあることが特徴です。経験豊富な研究者が同じプラットフォームに集まっているため、様々な知識と経験を得ることができるだけでなく、国際的に認められた研究者と若手研究者が共同研究を進めることも可能。将来の研究を担う若手研究者を育成するのにすばらしい環境だと思います。

**Malla** 在籍する研究者はバックグラウンドも様々だから、彼らとの交流で多様な視点やアイデアに触れることもできますよね。

**Agutaya** 私は、IROASTの支援で、日本国内のみならず海外の教授や研究者らと共同研究を進めることができている。ドイツ・テュービンゲン大学の Nicorae Barsan 博士 (IROAST 客員教授) が主催している「Chemical Sensor BlockCourse」にも、IROASTの International Joint Research Travel Support Program (若手研究者の国際頭脳循環を加速させる海外派遣支援制度) で参加することができました。

**Reetu Rani** 私は研究費支援を利

用して、タイで開催された、錯体化学の国際会議に参加しました。研究に必要な様々なリソースにアクセスできる環境の中でもやはり、財政的な支援はありがたいですね。それからもう一つ言っておきたいのは、IROASTの事務スタッフへの感謝。私を含め、日本語ができない研究者の不安や分からないことに対し、親切かつ精力的に支援してくれます。それに、熊本大学



シンポジウムでのポスタープレゼンの様子

には女性研究者を支援する様々なプログラムがあるんです。実は最初、熊本大学に女性研究者が少ないことで少しがっかりしたんです。でも、性別や年齢を理由に嫌な思いをすることはまったくありませんでした。日本での研究を夢んでいる女性研究者にはIROASTを強くお勧めしたいですね。

**Kunjappy** IROASTは日本のトップ研究機関の一つです。ここで研究できることは、自分の学術的な視野を広げるだけでなく、サイエンスの世界で有意義なつながりを得ることもできます。日本の科学研究会には、多様な視点や革新的アプローチがあり、これが私の研究をより深化させてくれると確信

しています。

### 豊かな自然と便利な都市生活 両方を兼ね備えた熊本

—熊本はどんなところ？ 休日は何をしていますか？

**Agutaya** 都市部でも、たくさんの自然があります。金峰山や江津湖にはすぐ行けるし、心安らぐ日本庭園がある水前寺成趣園もすぐ近くにあります。私は、年に数回金峰山にハイキングに行くんです。頂上に着くと、達成感で日ごろのストレスも忘れますよ。帰りには、頂上まで登ったご褒美に焼き肉やしゃぶしゃぶを食べることが楽しみなんです。

**Malla** 江津湖もいいですよね。都市部にありながら静かで、自然を満喫するには最適な場所です。IROASTがある黒髪キャンパスの近くには白川が流れており、私はその河川敷をのんびりと散歩しています。

**Kunjappy** 白川の土手は、私も気に入っていますよ。特に夕日の時間帯にゆっくり散歩するのが好き。歩きながら、目の前に広がる



江津湖



熊本市街地

絵のように美しい景色を堪能しています。一方で繁華街のショッピングエリアは賑やかで、熊本のエネルギーを感じることができるのがいいですね。

**Reetu Rani** 熊本の良さは、豊かな自然や静けさと、近代的な街での生活の快適さの両方を兼ね備えていることですね。熊本にはいろんな表情があって、いつもは穏やかで平和だけど、お祭りの時な

どはとても活気にあふれます。気候も快適だし、人も親切。熊本のすべての面を気に入っています。

**Kunjappy** 住んでいる人たちが温かいから、私たちのような外から来た訪問者も、心地よさを感じられるのではないのでしょうか。

**Agutaya** 実は私も白川沿いのジョギングコースが好きなんです。その理由は、そこで私が熊本で一番好きな「熊本の人々の笑顔」に出会えるからなんです。「おはようございます」という皆さんの笑顔が、一日の始まりになっています。

**Rahman** 私が熊本県内で一番好きな場所は阿蘇。活火山の火口に現れるエメラルド色の湖を眺めたことは、特別な体験になりました。

阿蘇は、訪れる価値のある場所ですよ。

**Malla** 私も週末は、新しい場所を探索するのが好きなんです。妻と街を歩き回ることもあれば、バスや電車の移動も簡単なので、いろいろな土地を見て文化理解につなげています。

**Rahman** 休日は、家族や友人と過ごす素晴らしい時間ですね。私も休暇があると、新しい場所や文化を探索し、新しいことを学び、



白川の河川敷と熊本大学

様々な国籍の人とつながりを築こうと努めています。

### IROASTでの経験を活かし 科学の進歩に貢献したい

—今後の展望を教えてください。

**Rahman** エネルギーは、人間の基本的なニーズを支える基本ですが、現在のエネルギー技術はまだ、様々な問題を抱えています。私は材料科学者として、エネルギー技術に利用できる、性能と耐久性の両方において既存の材料と競合できる新しい2Dおよび3D材料を探索することを目標にしています。

**Reetu Rani** 現在は有機金属フ

レームワーク (MOF) の環境応用に取り組んでおり、今後も継続したいと考えています。また、ポスドクの経験を活かして、学术界や研究機関で研究をさらに進化させることも目標。キャリアを重ね専門能力を磨きつつ、自分の専門分野に貢献したいですね。

**Kunjappy** 私は、イノベーションとコラボレーションを促進する学際的なアプローチの追求を目指しています。多様な方法論と視点で複雑な科学的課題に取り組み、知識の進歩に貢献したいと考えています。

**Agutaya** 木田研究室での研究を続けることが、私の当面の目標です。IROASTでの任期終了後のために、現在、日本学術振興会 (JSPS) が

提供する別の奨学金に応募することを検討しています。

**Malla** 私のIROASTポスドク研究員職は2024年8月に終了予定ですが、JSPS 科研費「若手研究」を得ることができたので、今後2年間、研究費の提供を受けられ、実験的な研究を行うことができるんです。この機会を活かして、熊本大学での研究に全力で取り組んでいきたいと考えています。IROASTは若い研究者にとってとてもいい環境です。ぜひ、多くの研究者の方に来てもらいたいですね。

